

キラットさん



大館桂高校 3年

しょうこ
宮田 聖子さん



宮田さんについて、担任で英語を指導している神成先生と体育を指導している佐藤先生から別々にお話を伺いました。そうしたら「宮田さんの良いところは明朗活発で行動力のあるところ。人の倍は努力をして、スポーツと勉強を立派に両立しています」と、二人の意見がピッタリ一致しました。本人によると性格は「明るく、前向きで、いつまでもよくよくよしません」とのことです。クラスの人気者タイプを思い浮かべたのですが、それでいて謙虚な面もあるそうで、どちらかというところ、目立つわけはないけれど、みんなからの信頼が厚いタイプのようなです。

トテニスでは硬式テニスと違い、ダブルスが主流で、ポジションは前衛と後衛に分かれています。宮田さんは、ネット際を守る前衛で、瞬時の判断力が要求されます。また、パートナーが下級生のため、試合展開にかかわらず、常に冷静である必要もあります。

成績はというと、二年の冬の全県インドア大会、今年の春の全県選抜大会と、ともに個人三位に入賞しました。それでも、大目標のインターハイへつながる全県大会では、惜しくも全国には一歩及びませんでした。そのときの模様を振り返っていただいたのですが「六位までに入るとインターハイに出場できたのに九位でした」といかに残念そうでした。ただ、福島で行われる東北大会には出場できるので、高校最後となるこの大会では、思いっきりプレーを楽しみたいということでした。

放課後、部活に力を注いでいる分、学校の行事は級友とふれあえる貴重な時間なので、とても楽しみたいと思います。将来について聞きまじたら「まだ決めていませんが、進歩できるようにこれからは勉強をがんばりたいです」という答えが返ってきました。具体的には、答えてくれませんでした。彼女の胸の内はもう決まっています。練習に向かって行きました。

私の本棚

中央図書館新着図書

『一から育てる山野草』

千葉光穂著
柘の葉書房



山野草栽培ブームの中、部垂町に住む千葉光穂さんの著書が「花と緑の入門シリーズ」の第一弾として出版されました。山を荒らすことなく種子から育てることを基本に掲載された百種の山野草の栽培法は、すべて千葉さんが自宅の庭で試験を重ねたもの。採種法、開花までの年数、難易度などのデータもあり、地元の山野草ファンにおすすめの一冊です。

一般書

◇喜知次(乙川優三郎) ◇幸福の遺伝子(早野梓) ◇月光のさざ波(立松和平) ◇ふたりの信康とふたりの徳姫(南條範夫) ◇大阪をつくった男(蜂谷涼) ◇日本一心のこもった恋文4(秋田県二ツ井町編) ◇心室細動(結城五郎) ◇辺境・近境(村上春樹) ◇私という小説の作り方(大江健三郎) ◇朝霧(北村薫) ◇危ないハネムーン(赤川次郎) ◇逃げていく街(山田太一) ◇残り火(諸井薫) ◇ポケモンの魔力(大月隆寛ほか編) ◇早期教育を考える(無藤隆) ◇三世紀は人間を幸福にしたか(柳田邦男) ◇あきた弁の謎(熊谷清) ◇源氏物語絵詞(瀬戸内寂聴) ◇白神の意味(八木浩司) ◇氷と闇の恐怖(クリストフ・ランスマイヤー) ◇借りのある人、貸しのある人(フランチェスコ・アルペロニ) ◇世界遺跡地図(コリン・ウィルソン) ほか

児童書

◇クレヨン王国 月のたまご(福永令三) ◇つるばら村のパン屋さん(茂市久美子) ◇ゴムあたまポンたろう(長新太) ◇ふしぎなファンファン・ファーマシィー(柏葉幸子) ◇子ども国会(肥田美代子) ◇ぼくだけのきょうりゅう(今江祥智) ◇キツネとのやくそく(立松和平) ◇ふれあいの手話全4巻(丸山浩路ほか) ほか

7月のテーマ関連図書コーナー
7月の親子読みかかせ会... 3日(毎月第一金曜日) 14時30分
7月の中央図書館の休館日... 19日、20日、23日